

# 快速エアポート

(平成二十四年度寮歌)

丸田潤君 作歌・作曲

(※)

快速エアポート僕を乗せ汽笛を鳴らして駆け抜ける  
旅行者達は両腕に白い恋人提げている  
車窓流れる街を背にカンバの林を抜ければ  
僕はもう独りぼっちさよなら youthful days

一

思い浮かぶ四年前の春のことその時も  
僕は独りこの列車に揺られていたよ  
希望に膨らむ夢と一分の不安抱えて  
雪の残る窓の外を眺めてた

(※繰り返し 白い恋人をじゃがぼつくるに変える)

二

思い掛けず頬を伝う一筋のその涙  
別離の先明日へ向かう決意の証  
二度と帰らぬ青春あれは夢か幻か  
だけど僕は紛うこと無く寮に居た

(※繰り返し 白い恋人をジギスカンキャラメルに変える)